

かみのやまし

上山市中心市街地活性化基本計画の概要

上山市商工課 商工振興グループ 副主幹 舟越 信弘

1. 上山市の概要

上山市は、人口3万3千人、面積241km²で、山形県の南東部にあり県都山形市の南隣に位置しています。東京からはJR山形新幹線で乗り継ぎなしで2時間40分、また、仙台市から約75km、高速バスで1時間25分でアクセスできます。

東に位置する蔵王連峰は、火口湖“お釜”、冬の樹氷など四季折々の風情を見せる自然の宝庫として、さらには、レジャーやスポーツ基地として、自然観光の中心になっています。また、“羽州の名城”と称され、昭和57年に郷土資料館として再建された上山城、その西側に4軒並ぶ武家屋敷など歴史を感じさせる建物や蔵が中心市街地に立ち並んでいます。554年前に高僧月秀上人によって発見された「かみのやま温泉」は、湯町地区、新湯地区、高松葉山地区に温泉旅館街を形成し、県内有数の温泉観光地として、県内外から多くの観光客が訪れる地域であります。また、市街地周辺の田園地帯では、さくらんぼ、ぶどう、ラ・フランスをはじめとする高品質な果物などの農産物が生産され、豊かな食文化を支えています。

2. 中心市街地をめぐる状況

当市の中心市街地は、室町時代から羽州街道の要衝として、上山城を中心とした城下町を形成し、「出湯のまち」でもあり宿場町として繁栄しました。明治時代、鉄道の開通とともに下町界隈が地域の流通拠点となり商業市街地に変貌しました。

現在、中心市街地には全市のうち、医療機関の60%、金融機関の47%、商店数の35%が集積し、複数の温泉街、公共施設等とともに一体的にまちを形成し、地域住民の生活の場でもあり観光地でもあるという二つの側面を有しています。

近年、市北部に隣接する山形市郊外に大規模小売店舗が次々に出店し、消費の流出が深刻な課題となっています。

また、温泉街や上山城、武家屋敷などには全市の観光

客総数のうち8割に相当する約80万人/年の観光客が訪れていますが、回遊ルート整備や観光客向けの商品開発が十分でなく、観光需要を取り込みきれていないため、近年は減少傾向にあります。

当市では、平成16年度に旧基本計画を作成し、「温泉と歴史・文化が輝く・人がにぎわうまちづくり」をテーマに41事業を位置づけ、取り組んできました。この中で、市で実施した武家屋敷通りの美装化をきっかけにブロック塀を板塀にする城下町再生志士隊の景観整備の取り組み、十日町商店街の若手後継者による景観まちづくりの活動など市民団体の活動が始まっています。



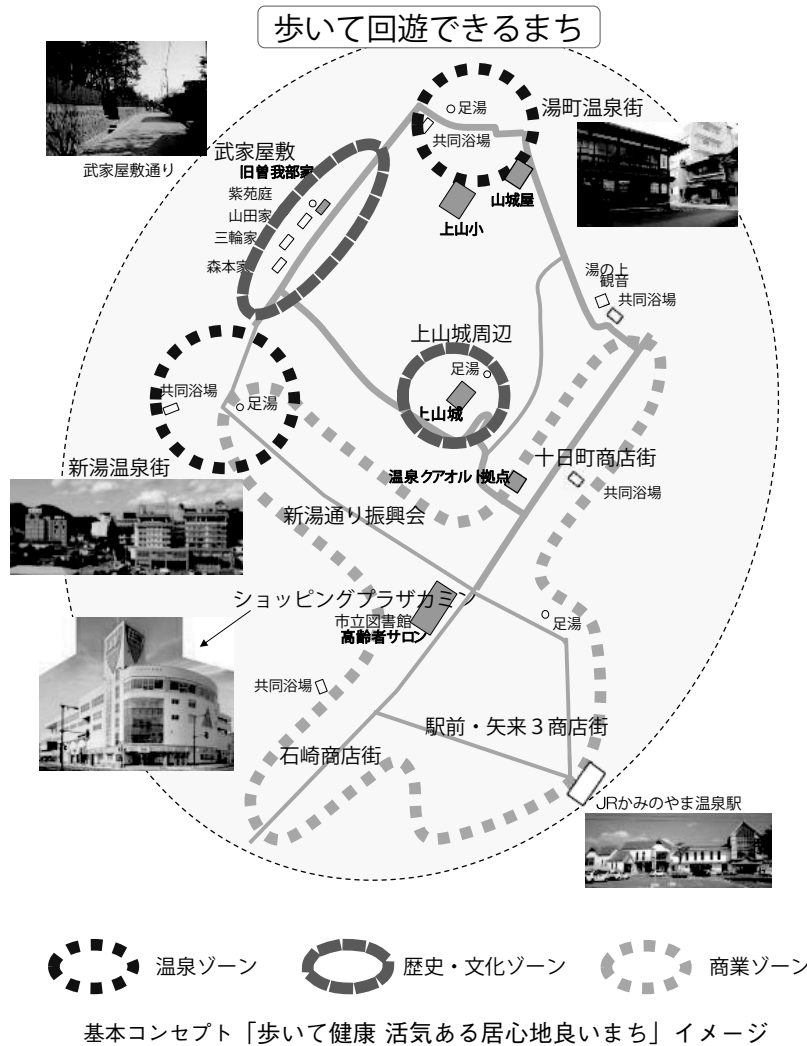
城下町再生志士隊のブロック塀を板塀にする活動

3. 目指す中心市街地像（中心市街地の位置及び区域）

当市では市民の健康増進と交流人口の拡大を目的に、長期滞在型の温泉健康保養地を目指す「上山型温泉クアオルト構想」に取り組んでいます。中心市街地においては、この構想にある健康ウォーキングを実施し、歴史のある温泉、上山城を中心とする歴史・文化資源、高品質で安全安心な農産物などの地域資源を活かしてさらに磨きをかけ、それらをつなぐことで回遊性が生まれ、市民も観光客も健康で歩きたくなるまちを目指します。また、ショッピングプラザカミンの集客力強化や地域及び個店の特徴を活かした魅力ある商店街づくりにより、市民及び観光客が集まる活気あるまちを目指します。

中心市街地活性化の基本コンセプトを「歩いて健康活気ある居心地良いまち」とし、下記の3つの基本方針を掲げ、活性化に取り組んでいきます。

(1) 歴史・地域資源を活かした健康で歩きたくなるまち

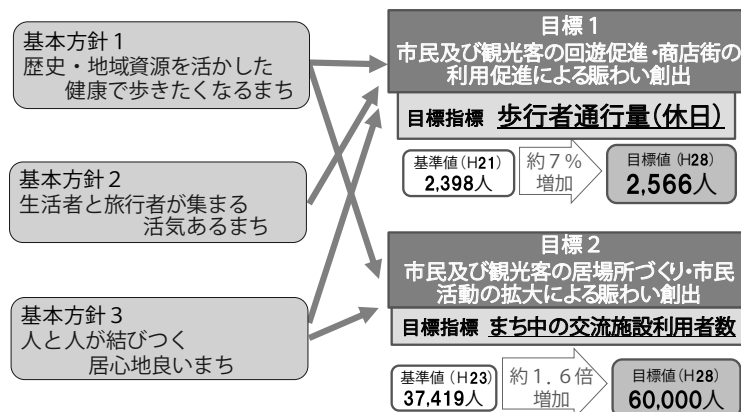


(2) 生活者と旅行者が集まる活気あるまち
 (3) 人と人が結びつく居心地良いまち
 本計画の区域は、カミンを中心にした半径約 600 m 以内の「歩ける範囲」において集中的な事業展開を図るため、二つの温泉街、上山城を中心とする歴史・文化資源、羽州街道沿いに南北に延びる商業地を繋いだ約 97ha としています。この地域は、都市機能の集積度が特に高く、金融機関、医療機関の大部分が集積し、主要な 8 つの商店会があり、かみのやま温泉駅や市内バス路線の起終点

であるカミンなどの交通結節点があります。

4. 中心市街地活性化の目標

3つの基本方針に基づいて2つの目標を設定し、目標達成状況を把握するために目標指標を下記のとおり設定しています。



5. 主な事業

基本コンセプト「歩いて健康 活気ある居心地良いまち」を実現するために、18のハード事業、31のソフト事業を実施しますが、主な事業は下記のとおりです。

(1) 歴史・地域資源を活かした健康で歩きたくなるまち

① 上山城拠点機能強化事業

歴史資料館としての機能を強化するとともに、スクリーンの設置やバリアフリー化によって、回遊型観光の拠点整備を進めます。

② 上山城周辺の魅力的な歩行空間を整備する事業

上山城がある月岡公園外周遊歩道の整備や武家屋敷通りと十日町通りをつなぐ道路の美装化により景観のよい散策に適した歩行空間を整備します。

③ 上山型温泉クアオルト構想事業

歴史文化資源、温泉などの地域資源を活かしたまち中ウォーキングや温泉クアオルト拠点の整備などにより、滞在型、回遊型の観光を推進します。

④ 武家屋敷・旧曾我部家整備事業

4軒の武家屋敷のうち1軒を改修整備し、一般公開することにより観光資源として積極的に保存活用します。

(2) 生活者と旅行者が集まる活気あるまち

⑤ カミン集客力強化事業

平成8年に再開発事業の核施設として建設された複合生活拠点施設（ショッピングセンター、市立図書館、コ

ミュニティ施設、銀行）ショッピングプラザカミンの物産・産直機能を強化するとともに観光インフォメーション機能の充実を図り、地元消費だけでなく観光客にも対応した商業拠点を目指します。

⑥ 「食の駅」設置事業

地元食材を使用した郷土食を提供する飲食店を「食の駅」に認定し、中心市街地へのリピーターを増やしていきます。

(3) 人と人が結びつく居心地良いまち

⑦ 高齢者サロン設置事業

高齢者が気軽に立ち寄り、交流できる場を整備し、高齢者にとって住みやすい環境づくりを行います。

⑧ 上山小学校改築整備事業

小学校の建替えに伴い屋内運動場、多目的ホールを新設し、一般開放することで地域交流の機会を充実させます。また、改築に合わせ児童館を新設し、子育て世代にとって住みよい環境を作ります。

6. おわりに

当市では、人口が減少し、少子高齢化が進行して市全体の高齢化率は31%（平成22年国勢調査）を越えておりますが、今後、地域資源を有効に活用し、地域特性を生かしながら市民、関係団体、行政が一体となり中心市街地活性化を推進してまいります。

(ふなこし のぶひろ)

